



2008年3月18日

VOL. 16

とっとり・グローバルウォッチ

とっとり貿易支援センター情報誌

現地発！台湾月刊レポート⑨

台湾総統選挙概況と、インターネットから見た鳥取とは

台湾総統選挙の見通しと状況について。またインターネットから見た鳥取のイメージを洗い出してみる。台湾人は、インターネットを通して、鳥取の何を探しているのか？

■台湾政権が日台ビジネスに影響する？

この報告書が出る3月中下旬に台湾に何かが起こる。なぜなら3月22日に台湾総統選挙がある。現政権与党の民進党の謝長廷と国民党の馬英九の戦い。3月に入った世論調査では、謝長廷対馬英九の戦いは、40：60というところ。馬英九が有利だ。今回の政策問題は、1. 景気問題、2. 台湾民主独立問題だ。

台湾人の多くは、不景気にうんざりしている。政権が国民党に替われば、景気が良くなると考えている人が世論調査では多い。国民党は、中国大陸よりの政策を採る。民進党は、民主独立を掲げる。この結果は、日本にとっても微妙な影を落とす。

また今後の日本の安全保障にとっても重要な意味をなす。日本人としては、看過できない重要な問題だ。政権が変われば、官僚、公務員も相当数ポジションが入れ替わる。民間会社であっても政権が変わることで、支持政党により商売上影響がある。今後の台湾への売り込みにも注意すべき点だ。もし台湾人とお付き合いしている方がいらっしゃれば、支持政党を確認しておいたほうが良い。台湾の人は、オープンに話す。一方で選挙後は、しばらく経済が安定するという見方もアナリストは出している。どちらにしる台湾には、注目していただきたい。変革は、チャンスでもあるからだ。

■鳥取の認知度in台湾

さて今回の報告書が、今期最後となった。台湾人の鳥取に対するイメージを検索結果から見てみる。台湾人はインターネットで鳥取の何を探しているのか。ちなみに、インターネット検索では、クリックが多いほど、結果の上部に表示され、また検索結果のトップページは、優先的にクリッ

クされることになる。「鳥取」を台湾で一番使われているYahooで検索してみた。

1. 鳥取縣観光聯盟
2. Wikipedia 鳥取駅
3. Wikipedia 鳥取県
4. TacoMart! 【TACOCITY】(注：鳥取のホテル説明はたった五件の結果だが、台湾人は、宿泊が集中するだろう。)
5. MOOK自遊自在旅遊網：首頁>全球景點>亞洲>日本>鳥取縣
6. udn旅遊休閒一遊遍天下>日本>鳥取>拜訪鬼太郎故郷 勇闖妖怪横町(上)
訳：鬼太郎の故郷を訪ねる、妖怪の街。
7. 日本“鳥取”值得一遊嗎？
—Yahoo!奇摩知識+
訳：鳥取は遊びに行く価値があるか？
8. Doco's - 鳥取吾妻そば
(注：私は食べた事がないのだが、台湾人は鳥取吾妻そばに大変興味を持っているらしい)
また同ページの「Yahoo知識+」には、
 1. 『鳥取市』是一個意外發現的好地方，其位於日本的中國地區，
訳：鳥取市は、わかったことだが意外にも良い場所だ。



旧暦1/15の台湾台東「炸寒單爺」という祭

目次

現地発！ 台湾月刊レポート⑨	P 1 P 2
とっとり貿易支援センター 機関 新メンバーの紹介	P 3
中国上海へ販路開拓を 目指す！	P 4 P 5
編集後記	P 6

世界の祝日～4月～

■中国	4日	清明節
■香港	4日	清明節
■タイ	7日	チャクリ朝記念日振替休日
	14, 15日	ソクラン節
■ベトナム	15日	ワン王(雄王)の命日 (旧暦3月10日)
	30日	南部ベトナム解放記念日
■フィリピン	7日	戦争記念日

出所：ジェトロ通商弘報
「世界の祝祭日2008年版」から

2. <東京到鳥取の距離> 從東京羽田機場到鳥取機場約 1 小時 10 分鐘。

訳：東京羽田から鳥取空港までは、1時間10分。

3. 日本高手請幫幫我~有關岡山縣及鳥取縣

訳：日本をよく知っている方、岡山と鳥取について教えて。

さらに、鳥取との関連キーワードは何か？台湾人の鳥取に対しての興味がわかる。

【関係詞】日本鳥取、日本鳥取旅遊、166鳥取蜘蛛、鳥取蜘蛛屋の怪物、鳥取蜘蛛の怪物、鳥取蜘蛛vcd (注：「鳥取蜘蛛」は、名探偵コナンだ。興味は、旅行とコナンか。)

同様にGoogleで検索すると、

1. 鳥取縣觀光聯盟 鳥取縣觀光鳥取縣の名特産

(注：柿がとってもおいしい、と出ている。)

2. Wikipedia 鳥取県

3. 梨記念館(もったいないが、検索先ページがない。)

さらに、鳥取と関連するGoogle関係詞キーワードは、何か。

鳥取砂丘、鳥取縣、鳥取花迴廊、鳥取沙丘、日本鳥取縣鳥取大學、鳥取鬼太郎、日本鳥取、四月鳥取砂丘、鳥取三洋電機

Yahooとは、違った関連キーワードで面白い。砂丘も「砂丘」と「沙丘」と二つの言葉に分かれていることは、翻訳時に注意すべきだ。不思議なのは、Yahooは、コナン派、Googleは、鬼太郎派が多い。ちなみに、両検索サイトとも、一件も広告が出てこない。「鳥取」と入力したお客様を総取りできるのに、少々もったいない気がする。また、検索結果上位にある無料のWikipedia(インターネットの百科事典)中国語の説明。以下、日本語簡訳。

<http://zh.wikipedia.org/wiki/%E9%B3%A5%E5%8F%96%E7%B8%A3>

「鳥取県は、日本本州西部にある日本海に面した小さな県。山陰に属する。人口わずか60万人。日本で一番小さい県だ。面積も大きくない。農業も不利で、工業力も弱い。電器と食品工業が一目に値する。鳥取で有名なのは、砂丘と梨。日本で最大の漁港もある。」

これしか書いてないのは、やはりもったいない。ここには、コナンも鬼太郎もない。もっと詳細に書けるのに、魅力が伝わらない。ちなみに日本語版は、こちら。内容の豊富さ、コンテンツ量は、一目瞭然だ。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%B3%A5%E5%8F%96%E7%9C%8C>

最近の台湾人ブログでは、何を書いているか。

1. 鳥取県議会が台湾訪問。

2. 鳥取旅行。「KUSO」的鳥取

(訳：KUSOは、かっこいいの意味。悪しからず。)

3. 香川 鳥取的妖怪之旅

全体をまとめると悪くない印象だが、魅力、特徴を出し切れていない感じがあり、情報量も少ない。インターネット関係は、コストが低い。しかし、はまれば効果が大きい。日本にいながらにしていること。もっとやれることがあるのだ。台湾との貿易は、難しくない。人の行き来も多い。問題はやる気。

そして広告、ブランド力。台湾人が理解できるコミュニケーションを進める事。もっと台湾コーディネーターも利用してほしい。お手伝いしたいと思います。

再見！ぜひ、お会いしましょう。



台湾は果物の宝庫。
台湾台東の巨大パイナップル「梨迦頭」。直径30約cm。美味しい。



台東の「梨迦頭」農家。日本語を話すお茶目なおじいさん達と。自分で頭に乗せました。

鳥取県台湾コーディネーター富田恭敏氏については、07年7月17日発行の本誌第8号(2ページ目)をご覧ください。

【お問合せ】

海外支援部(担当：早川、中江)

電話：0857-52-6735 F A X：0857-52-6782

E-mail：kaigai@toriton.or.jp

【榎スナーク 富田】

とっとり貿易支援センター機関 新メンバーの紹介

ジェトロ鳥取 係長 蒲田亮平

■自己紹介

12月よりジェトロ鳥取事務所に赴任した、蒲田(がまだ)と申します。この度、寄稿の機会をいただいたため、遅ればせながらこの場を借りてご挨拶させていただきます。

私は富山県の高岡市で高校まで過ごし、その後上京いたしました。鳥取市と高岡市は人口規模や降雪量等の面で類似点が多く、また、万葉時代に大伴家持が国守を務めた地であることも同じです。さらに言えば、鳥取市はカレールーの消費量が日本一とのことですが、高岡市も共働き率が高いため、コロッケの消費量が日本一の町となっています。

その後大学ではベトナムやインドネシアで農村に入り、農家を回って聞き取り調査を行っていました。添付の写真は、私が大学院生の時に行った、ベトナム北部の少数民族の村の様子です。ここでの人との触れ合いはとても刺激的で、様々な人に出会う機会のある、ジェトロに入るきっかけとなりました。



ジェトロでは、これまで外国企業の日本誘致を専門に行う部署におり、そこでビザ・税務・社会保険労務等の説明をしながら法人設立のお手伝いをしておりました。外国企業の進出先は、8割が東京・神奈川に集中しており、残りも大阪・名古屋等の大都市圏に進出するケースが多いのですが、外国企業の持つノウハウや技術は都市にダイナミズムをもたらす契機となるため、是非鳥取に在る間に1社でも2社でも呼び込み、例えば中心市街地活性化に資するような活動を行いたいと思っています。

■「山陰食品輸出商談会 in 東京」への参加

現在鳥取で主に行っていることは、食品加工業や製造業を中心とする、個別企業の海外進出支援です。私が鳥取に赴任して最初に携わったのが、2月6日にジェトロ松江事務所と協力して行った、「山陰食品輸出商談会」の開催です。これはジェトロの特性を生かし、鳥取・島根の県境を越え、鳥取から8社、島根から9社の企業が参加した商談会でした。

当日は東京に本店・支店のあるバイヤーが15社集まり、写真のように自社商品について熱心に説明する出展者の姿が多く見られました。また、新聞社や鳥取県東京事務所の方が訪問されるなど、初の試みということもあり、関心の高い商談会となりました。



商談会の様子。自社商品の説明に熱くなる。

その結果、合計で40社以上の商談が行われ、具体的に成約につながったケースはまだないものの、複数社に対してサンプル送付の依頼があるなど、一定の成果を挙げることができました。ただ、参加企業の中からは、「参加バイヤーが少なかった」、「自社商品にマッチするバイヤーがおらず、商談があまり行えなかった」というコメントもあり、企業のニーズを的確に捉え、バイヤーの「数」ではなく、成約につなげる「打率」を高める、という基本的な視点が固まっていなかった点は非常に反省するところです。今後の企画を行う際の大きな課題となる部分です。

■今後の抱負

私は上述のように、これまで対日投資を主な業務としていたため、今は貿易相談や企業訪問、事務所の経理に至るまで、全てのことが新しく刺激的な経験であり、勉強の日々が続いています。「実るほど 頭を垂れる 稲穂かな」という言葉は、私が大学進学時に祖母からもらったものです。企業や行政の方と話し合いを密に行い、視線を合わせ、鳥取県の潤滑油として微力を尽くしたいと思っていますので、どうぞよろしく申し上げます。

ジェトロ鳥取

住所：鳥取市若葉台南7丁目5番1号

電話：0857-52-4335

FAX：0857-52-4336

URL：<http://www.jetro.go.jp/tottori/>

中国上海へ販路開拓を目指す！

2008年度には上海コーディネーターを新設予定で

本誌のご愛読ありがとうございます。ここでは、事務局から来年度事業の紹介などをさせていただきます。

(表1) 上海基礎データ

- ◆中国最大の商工業都市
- ◆人口 1,836万人 (2005年末)
- ◆面積 6,340.5平方キロ (群馬県とほぼ同じ)
- ◆日本からの長期滞在者 43,990人 (2006年、ニューヨークに次いで2位)

(本県とのかかわり)

- ◆中国航路を神原汽船(株)が運航
寧波→上海→境港→新潟→富山→金沢→上海
→伊万里→新潟→富山→小樽→寧波
- ◆上海、江蘇省、浙江省に電気機械分野などの多くの企業が進出

(表2) 2008年度に当機構が出展を予定している海外見本市

時期	事業
6月18日～21日	「フード台北2008」(台湾での国際食品見本市への出展) →既に申込は締切となっています。
12月上旬	「FHC CHINA2008」(上海での国際食品見本市への出展と商談会開催) →今後、出展者を募集の予定です。
未定	広州、上海あたりでの電気機械専門見本市への出展を検討中

■2008年度の当機構海外支援部事業

新年度事業の特徴のひとつは、企業の皆様からの要望を踏まえ、中国における経済発展の先導役を担っている、上海(表1)を中心とする華東地域との経済活動(表2)のさらなる促進に重点を置いていることです。このため当機構では、その有力な手段として新たにこの地域に上海コーディネーターを設置する方向で準備を進めています。

■上海コーディネーターの新設

予定どおり準備が進めば、4月から上海の中心部に設置することになり、昨年5月台北に設置した台湾コーディネーターの場合と同様に、毎月の経済レポートを当機構のHPに掲載している当誌「とっとり・グローバルウォッチ」で紹介していくほか、個別に企業の皆様へ商談の機会や、各種の経済情報を提供させていただくこととなります。(簡単な業務を除き、企業の皆様と当該上海コーディネーターとの個別契約となります)

3月の中旬には、その上海コーディネーター人選のため上海を訪問し何人かの候補者の方に面接させていただきました。皆さん大変意欲的で、また中にはかなり以前から鳥取県と交流の深い方もおられ、かなりの手応えを感じたところです。

■上海市内の風景

ところで、候補者訪問の合間に見た久しぶりの上海

でしたが、都市再開発や経済の飛躍的發展の関係でしょうか、全く違った町に見えました。いつの間にやらです。例えば空港から時速400キロを超えるリニア、当時はただの広野だった浦東地区を含めて市内に林立する高層ビル、消費物資に溢れた街……。

そんな中、地下鉄の切符売場の窓口で釣銭を投げられたときは、これは昔と変わらないなと思いました。急激な物質文明の発展とこれまでの習慣とはなかなか調和が困難なのでしょうか。



上海市内スーパーの日本食コーナー

<次ページへ続く>

■食品市場調査

次に、こちらの富裕層の方がよく利用するという南京西路にある百貨店街に行ってみました。

上海人の気質に、港町で昔から外国との付き合いが多かったことから、進取の気性に溢れ、その考え方が過去の歴史にこだわらず、客観的に良いものは良いとするところがあるのでしょうか。例えば、バンドに立ち並ぶ20世紀初頭建設されたビル群は租界時代の遺物であり、言わば国辱のシンボルであるにも拘わらず、その観光資源として大切に保存管理している。

これに加えて、経済成長による購買力の向上で、日本の食品など、安全安心で良い物は高くても売れるということにつながっているのだなと感じました。

もちろん、販路開拓には、この上に更に工夫を凝らすことが必要であることは当然です。このたび、候補者の皆様から印象に残る格言のようなものをお聞きしましたので少し列記してみます。

「法律の上に共産党がある」
巧みに人間関係を構築することが必要。

「面子重視の国」
かえって、高級品を高く売ることも戦略のひとつ。

「接待攻勢には慎重に」
相手のペースに引っ張られやすいので要注意。

■結び

新年度には、上述事業や毎年の海外チャレンジ補助金のほか、例えば韓国など東アジアの他の地域における商談の機会設定など取り組みの幅を広げ、より充実した1年になるよう引き続き努力していくこととしています。どうか企業の皆様からは、一層の御指導、御協力をいただきますようお願いいたします。



上海浦東国際空港の様子

【(財)鳥取県産業振興機構海外支援部 中江】

編集後記

先日、千葉県の幕張メッセで開催されたアジア最大級の食品・飲料専門展示会「FOODEX JAPAN 2008」を見学してきました。世界から65カ国・地域、2,412社が出展しており、各ブースが試食品やサンプルを片手に自社製品をPRしていました。

(財)鳥取県産業振興機構もブースを構え、こだわりの自然派ブランドをテーマに、各企業が優れた機能性・健康食品や水産加工品などを紹介しました。その中には、海外の食品展示会に出展した経験を持つ企業もあり、海外からのバイヤーに対しても慣れた様子でアピールしていました。

会場全体の半分以上を占める海外出展ゾーンでは、それぞれの国・地域の特色がよく表れていました。例えば、「ニュージーランド」パビリオンはマオリ族の伝統的な歌と踊りのショーを開催し、「台湾」パビリオンはレトロな台湾の街角を彷彿とさせるデザインになっていました。雰囲気を楽しみながら商談できる空間作りが、ポイントなのかもしれません。【r】

『とっとり・グローバルウォッチ』では、皆様から、内容のご提案や掲載されている情報へのご意見・ご感想をお待ちしております。メールでお気軽にお寄せください。また、受信希望(無料)の方は下記までご連絡ください。

お問い合わせ：(財)鳥取県産業振興機構海外支援部(担当：早川)

E-mail: kaigai@toriton.or.jp TEL: 0857-52-6735

<http://toriton.or.jp/toriton-cgi/wnew3/disp.cgi?sub=1&cate=9&ind=1>

とっとり貿易支援センター
貿易に関する相談はこちらの窓口へ

【東部窓口】

■(財)鳥取県産業振興機構海外支援部
TEL 0857-52-6738

■ジェトロ鳥取貿易情報センター
TEL 0857-52-4335

【西部窓口】

■(株)さかいみなと貿易センター
TEL 0859-47-3900

■境港貿易振興会
TEL 0859-47-3905

【その他関係機関】

■境港管理組合港湾管理委員会事務局
TEL 0859-42-3705

■ジェトロ貿易相談デスク
TEL 0859-45-2203

■鳥取県商工労働部産業開発課
TEL 0857-26-7243